

さあ2学期です。気持ちを切り替えてスタートしよう！

～運動会の成功に向けて取り組んでいる熱気、

そのエネルギーを学習にも向けていこう！～

39日間の長い夏休みもあっという間に終わり、全校で取り組んでいる運動会もいよいよ8日後が本番となりました。全校で1つになって取り組む運動会。その熱い気持ちを持って2学期のよいスタートを切りたいものです。

1年間の中で最も長い2学期は、学習内容も多く、より学びを充実させたい学期でもあります。たくさんの学校行事があり、学年や学級での団結力を深めながら、仲間と共に自分たちを高め合い、その素晴らしい力を、是非学習にも活かしてほしいと思います。また、20日には後期生徒会役員選挙が予定されており、この9月は、前期の締めくくりをしながら、後期へ向けてのよいスタートを切るための大切な時期です。朝夕は涼しくなりましたが、まだまだ日中は暑いですが、暑さに負けず、頑張りましょう！

<9月の学習目標>

友だちの考えをしっかりと聴こう

聴く → 顔を見て、静かに、最後まで
話す → 聞こえる声、語尾まではっきり

2学期のスタートにあたって
もう一度「聴き方名人になろう」
「話し方名人になろう」を再確
認し、学習していこう

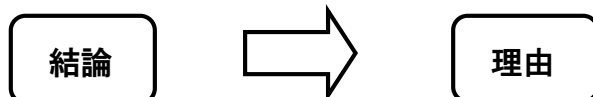
★話すこと★

今月は、特に「話し方」として次の3点に気をつけましょう。

- ・聞きやすい声のボリュームではっきり伝える。
- ・最後まではっきり話す。

途中から小声になったり、最後のほうをごまかしたりすることのないように。

- ・とうかつがた頭括型で話す。（結論を先に伝える話し方）



頭括型の話し方をすると…

最も伝えたいことを最初に伝えるようにしたほうが、相手の興味をひきつけることができ、集中して聞いてもらえます。

理由から先に話すと、話している間に本当は自分が何を言いたかったのかを忘れてしまうことがあります。結論を先に述べることでそれを防ぐことができます。



★聴くこと★

「聴き方」では『自分の考えを持ちながら聴く』ことを目標とし、取り組むことで、みんなが主体的に授業に取り組む雰囲気をつくりたいと思います。しっかりと聴こうとすると、自然とうなずきながら聴けるようになり、話している人にとっても心強く感じます。

これらを意識して、互いの立場や考えを尊重しながら、言葉を通して適切に表現したり正確に理解したりする力をつけ、自分の考えを持てるようにしましょう。



＜学習強化期間＞ 期間 9月12日(木)～19日(木)

「ベル学・挨拶・聴くこと」の徹底に取り組もう

項目 → ベル学・挨拶・聴くこと



運動会の後、気持ちを少しでも早く切りかえて授業に集中するために、学習強化期間を設定しました。今回の目標は、「ベル学・挨拶・聴くことの徹底」です。

休み時間の間に次の授業の準備をし、チャイムと同時に学習に取り組むことで、頭を切りかえ集中して授業に取り組めるように、ベル学を徹底しましょう。よい授業のスタートは、授業をよりよいものにします。

そして、「挨拶」は、今から授業を始めるぞというけじめの挨拶であり、みんなで授業をつくるぞという集中するための合図です。誰かに任せっぱなしの挨拶ではなく、学級全員の心を一つにした「挨拶」であってほしいものです。

さらに、集中して聴くことでいろいろな考えや意見を知ることができ、知識や理解が深まります。自分自身では気付かなかったことを友だちから教えてもらったり、自分と同じ考えをもった人がいることを知ったりすれば、自分に自信がつきます。

2学期のスタートにあたって「ベル学・挨拶・聴くこと」を意識して自分の考えを持つことへつなげていきましょう。

個人チェック表に、自分でしっかりチェックしながら、意識を高めていこう！！

目指せ！オールパーフェクト！！

自分だけのノートづくりを！

授業で得た知識をしっかりと定着させ、自分のものにするためにはノートを使って学習することが大切です。授業ノートに不可欠な三大要素は、

- ①板書 (先生が授業中に黒板に書いていく内容)
- ②解説 (先生が授業中に口頭で説明したことや面白いこぼれ話など)
- ③疑問・考え (板書や解説から自分が感じた疑問や考え、友達の意見に対しての感想など)
～なぜ、どうして？ わかった！面白い！ なるほど そうか！！～
→記号や囲みなども利用して工夫してみよう (色は3色まで)
→特に②③を充実させて書くことが大切

※十分な余白をとって、①②③を書く部分を分けてみましょう。

東大ノート 7つの法則

- と →とにかく文頭はそろえる……内容ごとに文の始まりをそろえている
う →写す必要がなければコピー……図や英文、問題などは、プリントやコピーで
だ →大胆に余白をとる……あとでいろいろ書き込める余白
い →インデックスを活用……目次を書いたり、ノートの左上にタイトルつけたり見直しがしやすくなる

の →ノートは区切りが肝心……1ページ、または見開きで 一目で見渡せるように

お →オリジナルのフォーマットを持つ……何をどこに書くのか、自分が一番使いやすい形を決めて書く

と 当然、丁寧に書いている……あとから見てもわかるように丁寧に

※ノートづくりを通して自分が理解できていないところや間違えやすいところを自覚し見直す、質も考えた学習、勉強にしていきましょう。勉強は質も量も大切です。

